

NOBIRU



1. 高校生活で必要となる力

前号では、効果的な学習方法とNGな学習方法について書きました。今回は、高校生活で必要となる力について書きたいと思います。

《高校生活で必要な3つの力》

①学ぶ力（学力と考える力）

- ・授業の内容を理解して、テストでも成果を出せる基礎学力。
- ・分からないことを自分で調べたり、先生や友だちに質問したりする力。
- ・情報をそのまま信じず、比べて考える力。

②伝える力（コミュニケーション）

- ・あいさつや「ありがとう」「ごめんね」をきちんとと言える力。
- ・自分の意見や気持ちを、相手に伝えるように話したり書いたりできる力。
- ・人の話を最後まで聞いて、相手の気持ちを想像できる力。

③生きる力（生活習慣と自己管理）

- ・朝起きる時間や提出物の期限を自分で管理できる力。
- ・学校のルールや社会のマナーを守れる力。
- ・気分が落ち込んでも、切り替えて行動しようとする力。

多くの高校では、「基礎的な学力」「自ら考え行動できる」、「仲間とともに学ぶ」、「基本的な生活習慣」、「自立」などが学校の目標となっており、公立高校であればアドミッション・ポリシーとして「求める生徒像」の中でこれらが挙げられることが多いです。

《高校卒業に直結するポイント》

- ①出席日数が足りていること
- ②必要な単位科目の成績が基準以上に達していること
- ③校則違反などで重い処分を受けていないこと

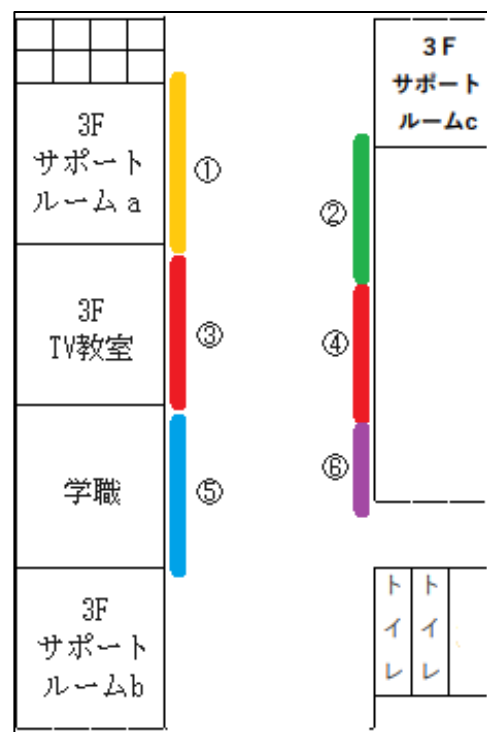
出席日数が足りない場合やテストなどの成績が基準未満の場合、授業単位を落とします。授業単位をいくつか落とすと、留年となります。留年となった場合は、もう一度同じ学年を繰り返し、現在の1つ下の学年と一緒に授業を受けることとなります。また、校則違反をしたり、先生の指示に従わない場合には、「停学」や「退学」の処分を受けることもあります。

《今から意識すると良いこと》

- ①規則正しい生活習慣を身につけること。（朝起きる時間、勉強する時間、寝る時間など）
- ②授業に遅れないこと。授業を抜けないこと。
- ③1回1回の授業を大切にすること。（50分間座って授業に集中すること）
- ④提出物は、「ぎりぎりより少し早め」を意識すること。
- ⑤苦手教科は、先生か友だちに早めに相談すること。
- ⑥社会や学校のルールを守ること。
- ⑦トラブルになりそうなことは深追いせず距離をとること。

高校は義務教育ではありません。ホームページなどを見ると、1年間で30~40人近く辞めてしまい、1クラス減ってしまう高校もいくつかあります。辞めてしまう理由はさまざまですが、卒業生からは「授業が難しくついていけない」「単位を落として留年した」「出席日数が足りなくて進級できなかった」という理由をよく聞きます。そうならないように、今からできることをしっかりとやりきりましょう。

2. ポスターの掲示



五中に、今の時点で届いているポスターを3階のろうかに掲示しています。これを見て、その高校に興味を持つ人もいます。自分は興味が無くても、掲示してあるポスター等は大切にしてください。もし破れていたり剥がれていたりするのを発見した場合は教えてください。

ポスターの配置は以下の通りに貼っていきます。高校探しの参考にしてください。

【ポスターのおおよその位置】

- ①専修学校・専門学校・通信制高校
- ②私立高校（男子校・女子校）
- ③④私立高校（共学校）
- ⑤公立高校
- ⑥国立高校・高等専門学校（高専）



～保護者の皆さまへ～

現在、5月27日（水）に開催予定の保護者対象進路説明会の出欠確認を行っております。お子様に配布しておりますので、出席・欠席を選んでいただき、お子様を通じて担任に提出をお願いします。5月15日（金）までにご提出をお願いします。